

基本目標・重要業績評価指標（KPI）の現状値一覧（令和2年度）

I 圏域全体の経済成長のけん引

評価の基準

- ◎：現状値が目標値を達成している
- ：基準値に対し、上昇している
- △：基準値に対し、横ばいである
(変動率±0.5%の範囲内)
- ×：基準値に対し、低下している
- －：事業の実施前等により評価不能

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)
	圏域内総生産額	4兆3,178億円 (H25)	4兆6,972億円 (H30)	4兆5,300億円
圏域内観光入込客数	18,649千人 (H27・暦年)	19,037千人 (R1・暦年)	23,100千人 (R3・暦年)	

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
①圏域経済データ等の活用	研修参加人数	—	0人/年	50人/年 (H30～R3)	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。令和3年度は実施に向け調整中。
②地域産業創出・新商品開発促進	岡山ヘルスケア産業連携協議会の会員数	85者 (H28)	155者	155者	◎	順調に増加している。
③企業立地・支援	担当者会議の回数	—	2回/年	2回/年 (R2～3)	◎	施策に関連する情報交換を行うとともに、共通する課題の洗い出しに向けて、担当者会議を開催しており、R3も引き続き実施していく。
④中小企業の経営健全化・人材確保等支援	連携市町からの合同説明会への参加企業数	—	8社	8社	◎	現在の参加連携市数を考慮すると、目標値は適切であると考えている。引き続き、目標値を達成していくことを目指す。
	小規模企業向けセミナーの参加者数	—	0人/回	30人/回	△	市域を越えての参加は極めて難しいことが改めて判明。R3の実施状況により事業継続の可否について判断したい。
⑤新規需要創出・喚起促進	地域資源PRセミナー参加者数	—	476人(累計)	500人(累計)	○	目標値達成に向け効果が見込まれるセミナー等を開催する。
⑥特産農産物PR	岡山市主催の地産地消マルシェ来場者数	8,000人 (H28)	0人	10,000人	×	新型コロナ感染拡大防止のため、例年のブース出展等によるマルシェ開催ができなかったため、目標値を下回る結果となった。
⑦食品製造業見本市共同出展	商談成約件数	—	98件(累計)	770件(累計)	○	見本市出品補助の商談成果(5年平均:16件/社)を基に、目標値(20件/社)を設定しているが、出展者の中には見本市出展経験が浅い企業が多く、また、新型コロナウイルス感染拡大による影響により令和2年度は出展を取りやめたため、1社あたりの成約件数は平均3.1件程度になった。この結果を検証しながら、各市で実績の上昇に向けた取組を検討していく。
⑧中小製造業海外販路開拓支援	商談成約件数	—	0件	6件(累計)	△	従来海外企業との商談成立までには一定の時間を要することに加え、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で動きが中断された状態であるため、0件となっている。成約に向けて、今後、再開の目途が立ち次第、改めて商談が行われる見込み。
⑨伝統工芸品発信	協力店舗数	—	4店舗	10店舗	○	市単独で協力店舗候補のリストアップが困難であったため、今後は、おかやま観光コンベンション協会を活用した飲食店のリストアップを検討する。
⑩圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信	圏域内観光入込客数	18,649千人 (H27・暦年)	19,037千人 (R1・暦年)	23,100千人 (R3・暦年)	○	H27年度のブレ・デスティネーションキャンペーン以降、西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により低下していたが、R1年度は増加に転じている。今後はコロナの影響による観光ニーズの変化を踏まえながら、観光資源の掘り起こしとストーリー化による観光コンテンツの開発・情報発信に取り組むとともに、日本遺産を活用したプロモーションの実施により目標達成を目指す。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
⑪岡山型ヘルスツーリズム拠点化	ムスリム観光客宿泊者数	859人	396人	4,059人	×	旅行博出展及び商談会参加による現地プロモーションにより、基準年と比較して宿泊者数は増加していたが、感染症の影響により激減している。本取組は全国的にも先進的な取組として評価されており、今後も、インバウンド需要回復期に向けた継続的なプロモーションにより、ムスリム観光客の誘致を図る。
	観光入込客数	11,493千人(H27・暦年)	11,106千人(R1・暦年)	15,307千人(R3・暦年)	×	H27年度のプレ・デスティネーションキャンペーン以降、西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により低下していたが、R1年度は増加に転じている。目標達成に向け、SNS等による情報発信や、プロガーや現地旅行会社の招請ツアー等の実施や、ビーチマーク取得店舗の拡充による受入環境整備等の取組を継続する。
	ハラル認証及び岡山おもてなし基準を満たした店舗・施設数	5店舗(施設)	73店舗(施設)	71店舗(施設)	◎	ムスリム対応の可能性がある店舗への訪問・支援により、店舗数は伸びており、今後はビーチマーク取得店舗のブラッシュアップを目指し、圏域内の各店舗に継続した働きかけを行うとともに、ビーチマーク取得店舗の情報発信を行い、2市1町への誘客に活用する。
⑫アートイベントとの連携による情報発信	イベントでの情報発信回数	—	—	5回/年(H30～R1)	—	—

II 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)
	JR岡山駅の乗降人数	13.2万人/日	9.4万人/日	14.4万人/日

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
⑬地域高規格道路「空港津山道路」の整備促進	要望・啓発活動等の実施実績数	1回/年(H28)	4回/年	3回/年	◎	要望活動や勉強会の開催を踏まえて目標値を設定しており、達成ができた。
⑭中国横断自動車道岡山米子線による交流促進	交通量の推移(賀陽IC～北房JCT)	9,183台/日	7,265台/日	10,000台/日以上	×	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光などの人流が停滞したことが原因と考える。
⑮岡山市と早島町を結ぶ国道2号等幹線道路の渋滞対策の促進	(市)藤田浦安南町線事業進捗率(事業費ベース)	36%(H28)	95%	100%	○	目標達成に向けて引き続き(市)藤田浦安南町線の整備を進めていく。
⑯ESD実践	ESD・SDGsの理解を深める研修会参加者数	—	338人(累計)	450人(累計)	○	目標値に向かっておおむね順調に推移している。
⑰NPO法人等の「こんなことできますリスト」等の情報発信	広域の「こんなことできますリスト」掲載団体数	—	21団体	25団体	○	岡山市ではNPO法人を対象とした説明会開催に合わせ、掲載を呼びかけている。引き続き掲載の呼びかけとともに、掲載することによるメリットを説明し、連携市町で活動するNPO法人にも掲載を依頼することにより、目標値の達成を図る。
⑱官民協働事業の促進	官民協働事業交流会の参加者数	—	340人(累計)	240人(累計)	◎	各市町の官民協働事例や協働施策について情報交換制度の改善につながるアンケートを行った。連携市町にヒアリングを行ったうえで、連携市町で事例報告会や研修会を企画し実施する。連携市町で活動する団体や行政職員などの参加により、目標人数を達成できた。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
⑱多様な主体による課題解決マッチング	多様な主体の協働による課題解決のための広域マッチング件数	—	7件(累計)	14件(累計)	○	ESD・市民協働推進センターが開催する課題解決ワークショップへの参加に加え、連携市町へコーディネーター派遣を行うなど、マッチング件数の目標値の達成を図る。
⑳市民活動ノウハウ移転支援	市民活動ノウハウ移転件数	—	1件(累計)	1件(累計)	◎	R1に久米南町のNPO法人にノウハウを移転し、目標を達成。今後も引き続き、随時相談受付を行っていく。
㉑地域における協働の仕組みづくりに関する情報交換	地域協働フォーラムでの地域協働事例の発表数	—	19件(累計)	25件(累計)	○	地域協働フォーラム等での事例報告への参加を呼びかけ、学び合いを深めるなどにより、目標件数の達成を図る。

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)
		圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人(累計) (H23～27)	▲4,674人(累計) (H28～R2)

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
㉒地域包括ケアシステム構築推進連携	連携して行う人材育成事業の実施回数	—	3回/年	6回/年 (H29～R2)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会等を一部中止したことから、目標を下回る実施回数となった。
㉓保育園等の広域入所	入所手続きに係る来庁回数が1回以内の相談者の割合	—	100%	100% (H30～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
㉔学校教育に関する情報共有	情報共有した特色ある取組件数	—	14件/年	50件/年 (H29～R3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修等が中止となり目標値を下回った。
	担当者会議の回数	—	5回/年	10回/年 (H29～R3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議が中止となり目標値を下回った。
㉕交流学习	交流学习の実施回数	—	2回/年	3回/年 (R1～3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流が中止となり目標値を下回った。
㉖「ファジアーノ岡山」、 「岡山シーガルズ」の支援	「ファジアーノ岡山」ホームゲーム平均入場者数	8,404人 (H26)	3,072人	12,000人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛や無観客試合、入場制限がかかっていたことにより、目標を下回る実績値となった。
	「岡山シーガルズ」ホームゲーム平均入場者数	3,397人 (H26)	1,349人	4,500人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛により、入場者数が低迷し、目標を下回る実績値となった。
㉗大規模なスポーツ大会等の受入体制の整備	中国地区以上の規模のスポーツ大会の誘致件数	—	3件(累計)	2件(累計)	◎	目標どおり実施することができている。
㉘有害鳥獣対策研究	担当者会議の回数	—	3回/年	2回以上/年 (H30～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
㉙河川の水質改善と環境保全推進	連携して行う自然体験行事等の実施回数	—	1回/年	10回/年	○	新型コロナウイルス感染拡大により、開催を予定した行事等の大半が中止となった。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R2)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
㊸ごみ焼却処理相互支援	ごみ処理受入率	100% (H28)	未実施	100% (H29～R3)	—	—
㊹広域ごみ処理施設整備	施設稼働	—	—	施設稼働 (R8)	—	—
㊺御津・建部地域と久米南町を結ぶ地域間路線の再構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
㊻灘崎地域と玉野市を結ぶ地域間路線の構築	グンタクの利用者数	763人 (H30)	571人	840人	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減ったものと思われる。引き続き、地元検討組織とともに利用促進を図られるよう検討を行いたい。
㊼岡山市内鉄道駅と赤磐市を結ぶ地域間路線の構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
㊽JRの利用促進と駅機能強化	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
㊾岡山市と吉備中央町のバス路線の再構築	本格運行移行	—	試行中	本格運行移行	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しているものの、引き続き本格運行移行に向けた協議・調整を進めていく。
㊿西大寺地域と瀬戸内市のバス路線の再構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
㊸岡山空港から宇野港までの直通バスの導入	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
㊹移住促進連携	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人(累計) (H23～27)	▲4,674人(累計) (H28～R2)	700人(累計) (H28～R2)	×	東日本大震災の影響で転入超過となった時期もあったが、次第にその動きが弱まっていることが最大の要因と考えられる。各市町と協議を十分に行い、移住・定住の促進に効果的な事業を検討する。
	「GYOSANおかやま」ページビュー(PV)数	1,013PV/月 (H29)	808PV/月	1,200PV/月	×	上記に同じ
㊺公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築	圏域内施設状況の把握	—	—	公表 (R1)	—	—
㊻公共施設の相互利用の仕組み構築	相互利用促進事業数	—	2事業(累計)	3事業(累計)	○	令和2年度は、圏域内のスポーツ施設を紹介するホームページとチラシを作成し、相互利用の促進を図った。
㊼図書館相互利用	住民一人あたりの年間貸出冊数	5.9冊	5.5冊	6.0冊	×	新規開館した図書館や図書館数が増加した自治体があったために、数値が伸びてきていたが、新型コロナウイルスの影響によって減少となった。数値を回復していくため、サービスのPRに取り組む。
㊽子どもパスポート	パスポート掲載施設の利用者数(利用者数を把握していない2施設を除く)	1,985,063人/年 (H29)	1,323,152人/年	2,183,000人/年	×	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、施設の休館や人の動きの停滞によるものと推察される。新型コロナウイルス感染症に留意した上で、施設の利用促進につながる取組を今後も検討する。
㊾人事交流・育成	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	—	6回/年	5回/年 (H29～R3)	◎	人材育成に資する内容の研修を選定し、呼びかけを行った結果、うち5回の研修において圏域内市町からの参加があった。